

表30. 排泄障害

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	29(61.7)	23(76.7)	7(43.7)	15(75.0)	74(65.5)
問題なし	18(38.3)	7(23.3)	9(56.3)	5(25.0)	39(34.5)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=29)	血管性痴呆 (N=23)	頭部外傷後遺症 (N=7)	その他 (N=15)	総計 (N=74)
1	9(31.0)	10(43.5)	5(71.4)	4(26.7)	28(27.8)
2	4(13.8)	5(21.7)	0(0.0)	4(26.7)	13(17.6)
3	4(13.8)	5(21.7)	1(14.3)	1(6.7)	11(14.9)
4	4(13.8)	1(4.3)	0(0.0)	3(0.0)	8(10.8)
5	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
6以上	2(6.9)	1(4.3)	1(14.3)	0(0.0)	4(5.4)
記載なし	6(20.7)	1(4.3)	0(0.0)	3(20.0)	10(13.5)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=29)	血管性痴呆 (N=23)	頭部外傷後遺症 (N=7)	その他 (N=15)	総計 (N=74)
1	19(65.5)	17(73.9)	5(71.4)	9(60.0)	50(67.6)
2	8(27.6)	5(21.7)	2(28.6)	5(33.3)	20(27.0)
3	1(3.4)	0(0.0)	0(0.0)	1(6.7)	2(2.7)
記載なし	1(3.4)	1(4.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.7)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=29)	血管性痴呆 (N=23)	頭部外傷後遺症 (N=7)	その他 (N=15)	総計 (N=74)
1~	4(13.8)	11(47.8)	5(71.4)	7(46.7)	27(36.5)
06~	10(34.5)	5(21.7)	2(28.6)	5(33.3)	22(29.7)
11~	8(27.6)	7(30.4)	0(0.0)	2(13.3)	17(23.0)
31~	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
61~	1(3.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)
121~	1(3.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)
181以上	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	5(17.2)	0(0.0)	0(0.0)	1(6.7)	6(8.1)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=29)	血管性痴呆 (N=23)	頭部外傷後遺症 (N=7)	その他 (N=15)	総計 (N=74)
1	5(20.7)	9(39.1)	1(14.3)	6(40.0)	22(29.7)
2	2(6.9)	2(8.7)	0(0.0)	0(0.0)	4(5.4)
3	1(3.4)	0(0.0)	2(28.6)	0(0.0)	3(4.1)
4	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
5	5(17.2)	2(8.7)	1(14.3)	1(6.7)	9(12.2)
6~	8(27.6)	7(30.4)	3(42.9)	7(46.7)	25(33.8)
11以上	1(3.4)	1(4.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.7)
記載なし	6(20.7)	2(8.7)	0(0.0)	1(6.7)	9(12.2)

頻度	アルツハイマー病 (N=29)	血管性痴呆 (N=23)	頭部外傷後遺症 (N=7)	その他 (N=15)	総計 (N=74)
年に1度~ 2カ月に1度	1(3.4)	1(4.3)	0(0.0)	1(6.7)	3(4.1)
月に1度~ 2週間に1度	1(3.4)	0(0.0)	0(0.0)	1(6.7)	2(2.7)
週に1度~ 2日に1度	1(3.4)	4(17.4)	0(0.0)	2(13.3)	7(9.5)
日に1度~ 日に数回	22(75.9)	17(73.9)	7(100)	11(73.0)	57(77.0)
記載なし	4(13.8)	1(4.3)	0(0.0)	0(0.0)	5(6.8)

表3 1. 着脱衣障害

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	36(76.7)	20(66.7)	7(43.7)	12(60.0)	75(66.4)
問題なし	11(23.4)	10(33.3)	9(56.3)	8(40.0)	38(33.6)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=36)	血管性痴呆 (N=20)	頭部外傷後遺症 (N=7)	その他 (N=12)	総計 (N=75)
1	4(11.1)	2(10.0)	1(14.3)	0(0.0)	7(9.3)
2	6(16.7)	3(15.0)	4(57.1)	4(33.3)	17(22.7)
3	6(16.7)	5(25.0)	0(0.0)	2(16.7)	13(17.3)
4	6(16.7)	7(35.0)	1(14.3)	1(8.3)	15(20.0)
5	1(2.7)	1(5.0)	0(0.0)	2(16.7)	4(5.3)
6以上	5(13.9)	2(10.0)	1(14.3)	0(0.0)	8(10.7)
記載なし	8(22.2)	0(0.0)	0(0.0)	3(25.0)	11(14.7)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=36)	血管性痴呆 (N=20)	頭部外傷後遺症 (N=7)	その他 (N=12)	総計 (N=75)
1	29(80.6)	14(70.0)	6(85.7)	8(66.7)	57(76.0)
2	6(16.7)	6(30.0)	1(14.3)	4(33.3)	17(22.7)
3	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	1(2.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=36)	血管性痴呆 (N=20)	頭部外傷後遺症 (N=7)	その他 (N=12)	総計 (N=75)
1～	8(22.2)	11(55.0)	3(42.9)	8(66.7)	30(40.0)
06～	14(38.9)	5(25.0)	2(28.6)	4(33.3)	25(33.3)
11～	8(22.2)	4(20.0)	2(28.6)	0(0.0)	14(18.7)
31以上	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	6(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(8.0)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=36)	血管性痴呆 (N=20)	頭部外傷後遺症 (N=7)	その他 (N=12)	総計 (N=75)
1	6(16.7)	12(60.0)	3(42.9)	8(66.7)	29(38.7)
2	20(55.6)	6(30.0)	4(57.1)	4(33.3)	34(45.3)
3	2(5.6)	1(5.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(4.0)
4	0(0.0)	1(5.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)
5～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	8(22.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(10.7)

頻度	アルツハイマー病 (N=36)	血管性痴呆 (N=20)	頭部外傷後遺症 (N=7)	その他 (N=12)	総計 (N=75)
年に1度～2 カ月に1度	1(2.8)	0(0.0)	0(0.0)	1(8.3)	2(2.7)
月に1度～ 2週間に1度	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
週に1度～ 2日に1度	2(5.6)	4(20.0)	2(28.6)	6(50.0)	14(18.7)
日に1度～ 日に数回	29(80.6)	15(75.0)	5(71.4)	5(41.7)	54(72.0)
記載なし	4(11.1)	1(5.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(6.7)

表3 2. 摂食障害

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	26(55.3)	13(43.3)	5(31.3)	10(50.0)	54(47.8)
問題なし	21(44.7)	17(56.7)	11(68.7)	10(50.0)	59(52.2)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=26)	血管性痴呆 (N=13)	頭部外傷後遺症 (N=5)	その他 (N=10)	総計 (N=54)
1	2(7.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(10.0)	3(5.6)
2	0(0.0)	5(38.5)	1(20.0)	3(30.0)	9(16.7)
3	3(11.5)	1(7.7)	3(60.0)	2(20.0)	9(16.7)
4	7(26.7)	2(15.4)	0(0.0)	0(0.0)	9(16.7)
5	2(7.7)	3(23.1)	0(0.0)	1(10.0)	6(11.1)
6以上	5(19.2)	2(15.4)	1(20.0)	1(10.0)	9(16.7)
記載なし	7(26.7)	0(0.0)	0(0.0)	2(20.0)	9(16.7)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=26)	血管性痴呆 (N=13)	頭部外傷後遺症 (N=5)	その他 (N=10)	総計 (N=54)
1	20(76.9)	12(92.3)	5(100)	10(100)	47(87.0)
2	4(15.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(7.4)
3	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	2(7.7)	1(7.7)	0(0.0)	0(0.0)	3(5.6)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=26)	血管性痴呆 (N=13)	頭部外傷後遺症 (N=5)	その他 (N=10)	総計 (N=54)
1～	1(3.8)	4(30.8)	1(20.0)	0(0.0)	6(11.1)
06～	3(11.5)	1(7.7)	1(20.0)	3(30.0)	8(14.8)
11～	12(46.2)	6(46.2)	3(60.0)	4(40.0)	25(46.3)
31～	2(7.7)	2(15.4)	0(0.0)	1(10.0)	5(9.3)
61～	1(3.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.9)
121～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	7(26.9)	0(0.0)	0(0.0)	2(20.0)	9(16.7)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=26)	血管性痴呆 (N=13)	頭部外傷後遺症 (N=5)	その他 (N=10)	総計 (N=54)
1	1(3.8)	4(30.8)	0(0.0)	1(10.0)	6(11.1)
2	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
3	15(57.7)	8(61.5)	5(100)	7(70.0)	35(64.8)
4	1(3.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.9)
5	1(3.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.9)
6～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	8(30.8)	1(7.7)	0(0.0)	2(20.0)	11(20.4)

頻度	アルツハイマー病 (N=26)	血管性痴呆 (N=13)	頭部外傷後遺症 (N=5)	その他 (N=10)	総計 (N=54)
年に1度～2 カ月に1度	0(0.0)	1(7.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.9)
月に1度～ 2週間に1度	0(0.0)	1(7.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.9)
週に1度～ 2日に1度	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(10.0)	1(1.9)
日に1度～ 日に数回	20(76.9)	10(76.9)	5(100)	9(90.0)	44(81.5)
記載なし	6(23.1)	1(7.7)	0(0.0)	0(0.0)	7(13.0)

(4) 保清介助 (表33)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題あり」が半数以上に認められた。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では、4位に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病と血管性痴呆は6位以下が、頭部外傷後遺症とその他の痴呆は3位が一番多かった。
- ③対応する介護人数は、1人が多かった。2人が必要な場合は全体の1/5程度に認められた。
- ④対応時間は、全体では5分以内が多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病と頭部外傷後遺症は6分～10分以内が一番多く、血管性痴呆とその他の痴呆が5分以内が一番多かった。
- ⑤対応回数は、全体でも、疾患別でも、4回が多かった。
- ⑥頻度は、全体でも、疾患別でも、「日に1度～日に数回」が多かった。

<小括>

保清介助は、半数以上に認められた。頻度は日に数回と多いものの、対応時間は短く、対応人数も一人が多く、重労働ではなく、また対応の困難さも比較的軽度であった。

(5) 入浴介助 (表34)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題あり」が半数以上に認められた。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では、1位に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は2～3位が、血管性痴呆とその他の痴呆は1位が一番多かった。頭部外傷後遺症は1～2位が一番多かった。
- ③対応する介護人数は、全体では2人が一番多かった。特に血管性痴呆は2人を必要とする対象が多かった。しかし、アルツハイマー病と頭部外傷後遺症では1人が一番多かった。
- ④対応時間は、全体でも、疾患別でも、11分～30分が多かった。
- ⑤対応回数は、全体でも、疾患別でも、1回が多かった。
- ⑥頻度は、全体でも、疾患別でも、「週に1度～2日に1度」が一番多かった。但し、アルツハイマー病は、「日に1度～日に数回」も同じ頻度で見られた。

<小括>

入浴介助は、問題ありが半数以上に見られた。対応人数は2人が多く、対応時間も長く、重労働でかつ対応困難な問題といえた。しかし、対応の頻度は週に1～2日に一度と少なかった。

(6) 介護への拒否 (表35)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が半数以上に認められた。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では、4位に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は4位が、血管性痴呆は1位が一番多かった。頭部外傷後遺症とその他の痴呆は6位以上が一番多かった。
- ③対応する介護人数は、全体では1人が一番多かった。しかし、アルツハイマー病は1人が一番多かったものの、2人や3人の場合も認められた。
- ④対応時間は、全体でも、血管性痴呆を除く疾患別でも、11分～30分以内が一番多かった。なお、血管性痴呆は、6分～10分以内が一番多かった。
- ⑤対応回数は、全体でも、頭部外傷後遺症を除く疾患別でも、1回が一番多かった。なお、頭部外傷後遺症は2回が一番多かった。
- ⑥頻度は、全体では「週に1度～2日に1度」が一番多かった。疾患別に見ると、アルツハイマー病は、「日に1度～日に数回」が一番多く、血管性痴呆とその他の痴呆は「週に1度～2日に1度」が一番多かった。

<小括>

介護への拒否は、問題なしが多かった。対応の人数は1人で、回数も少なく重労働ではなかったが、対応の時間は長かった。特に、アルツハイマー病においては、2人が必要な場合や対応の頻度が多いなど、対応の困難さは比較的高度と言えた。

表33. 保清介助

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	35(74.5)	15(50.0)	8(50.0)	13(65.0)	71(62.8)
問題なし	12(25.5)	15(50.0)	8(50.0)	7(35.0)	42(37.2)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=35)	血管性痴呆 (N=15)	頭部外傷後遺症 (N=8)	その他 (N=13)	総計 (N=71)
1	1(2.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)
2	3(8.6)	2(13.3)	1(12.5)	1(7.7)	7(9.9)
3	4(11.4)	2(13.3)	3(37.5)	3(23.1)	12(16.9)
4	6(17.1)	3(20.0)	2(25.0)	2(15.4)	13(18.3)
5	5(14.3)	3(20.0)	1(12.5)	2(15.4)	11(15.5)
6以上	8(22.9)	4(26.7)	1(12.5)	2(15.4)	15(21.1)
記載なし	8(22.9)	1(6.7)	0(0.0)	3(23.1)	12(16.9)

介護人数(人)	アルツハイマー病 (N=35)	血管性痴呆 (N=15)	頭部外傷後遺症 (N=8)	その他 (N=13)	総計 (N=71)
1	26(74.3)	11(73.3)	8(100)	11(84.6)	56(78.9)
2	7(20.0)	3(20.0)	0(0.0)	2(15.4)	12(16.9)
3	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	2(5.7)	1(6.7)	0(0.0)	0(0.0)	3(4.2)

対応時間(分)	アルツハイマー病 (N=35)	血管性痴呆 (N=15)	頭部外傷後遺症 (N=8)	その他 (N=13)	総計 (N=71)
1～	9(25.7)	9(60.0)	3(37.5)	8(61.5)	29(40.8)
06～	14(40.0)	3(20.0)	4(50.0)	2(15.4)	23(32.4)
11～	6(17.1)	3(20.0)	1(12.5)	2(15.4)	12(16.9)
31～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	6(17.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(7.7)	7(9.9)

対応回数(回)	アルツハイマー病 (N=35)	血管性痴呆 (N=15)	頭部外傷後遺症 (N=8)	その他 (N=13)	総計 (N=71)
1	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
2	0(0.0)	1(6.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)
3	3(8.6)	0(0.0)	0(0.0)	4(30.8)	7(9.9)
4	27(77.1)	13(86.7)	8(100)	8(61.5)	56(78.9)
5～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	5(14.3)	1(6.7)	0(0.0)	1(7.7)	7(9.9)

頻度	アルツハイマー病 (N=35)	血管性痴呆 (N=15)	頭部外傷後遺症 (N=8)	その他 (N=13)	総計 (N=71)
年に1度～2 カ月に1度	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
月に1度～ 2週間に1度	0(0.0)	1(6.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)
週に1度～ 2日に1度	3(8.6)	0(0.0)	0(0.0)	4(30.8)	7(9.9)
日に1度～ 日に数回	27(77.1)	13(86.7)	8(100)	8(61.5)	56(78.9)
記載なし	5(14.3)	1(6.7)	0(0.0)	1(7.7)	7(9.9)

表34. 入浴介助

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	33(70.2)	19(63.3)	8(50.0)	13(65.0)	73(64.6)
問題なし	14(29.8)	11(36.7)	8(50.0)	7(35.0)	40(35.4)

対応困難な問題行動しての順位	アルツハイマー病 (N=33)	血管性痴呆 (N=19)	頭部外傷後遺症 (N=8)	その他 (N=13)	総計 (N=73)
1	3(9.1)	7(36.8)	2(25.0)	5(38.5)	17(23.3)
2	7(21.2)	4(21.1)	2(25.0)	1(7.7)	14(19.2)
3	7(21.2)	2(10.5)	1(12.5)	2(15.4)	12(16.4)
4	3(9.1)	2(10.5)	1(12.5)	0(0.0)	6(8.2)
5	4(12.1)	3(15.8)	1(12.5)	1(7.7)	9(12.3)
6以上	2(6.1)	0(0.0)	1(12.5)	1(7.7)	4(5.5)
記載なし	7(21.2)	1(5.3)	0(0.0)	3(23.1)	11(15.1)

介護人数(人)	アルツハイマー病 (N=33)	血管性痴呆 (N=19)	頭部外傷後遺症 (N=8)	その他 (N=13)	総計 (N=73)
1	16(48.5)	4(21.1)	6(75.0)	4(30.7)	30(41.1)
2	11(33.3)	13(68.4)	1(12.5)	7(53.8)	32(43.8)
3	4(12.1)	2(10.5)	1(12.5)	2(15.4)	9(12.3)
記載なし	2(6.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.7)

対応時間(分)	アルツハイマー病 (N=33)	血管性痴呆 (N=19)	頭部外傷後遺症 (N=8)	その他 (N=13)	総計 (N=73)
1～	0(0.0)	1(5.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)
06～	2(6.1)	1(5.3)	1(12.5)	4(30.7)	8(11.0)
11～	25(75.8)	17(89.4)	7(87.5)	8(61.5)	57(78.1)
31～	3(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(4.1)
61～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	3(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(7.7)	4(5.5)

対応回数(回)	アルツハイマー病 (N=33)	血管性痴呆 (N=19)	頭部外傷後遺症 (N=8)	その他 (N=13)	総計 (N=73)
1	28(84.8)	17(89.5)	6(75.0)	13(100)	64(87.7)
2	1(3.0)	1(5.3)	2(25.0)	0(0.0)	4(5.5)
3	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	4(12.1)	1(5.3)	0(0.0)	0(0.0)	5(6.8)

頻度	アルツハイマー病 (N=33)	血管性痴呆 (N=19)	頭部外傷後遺症 (N=8)	その他 (N=13)	総計 (N=73)
年に1度～ 2カ月に1度	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(7.7)	1(1.4)
月に1度～ 2週間に1度	0(0.0)	0(0.0)	1(12.5)	0(0.0)	1(1.4)
週に1度～ 2日に1度	15(45.5)	15(78.9)	7(87.5)	10(76.9)	47(64.4)
日に1度～ 日に数回	15(45.5)	3(15.8)	0(0.0)	2(15.4)	20(27.4)
記載なし	3(9.1)	1(5.3)	0(0.0)	0(0.0)	4(5.5)

表35. 介護への拒否

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	17(36.2)	4(13.3)	1(6.3)	4(20.0)	26(23.0)
問題なし	30(63.8)	26(86.7)	15(93.7)	16(80.0)	87(77.0)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=17)	血管性痴呆 (N=4)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=4)	総計 (N=26)
1	1(5.9)	2(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(11.5)
2	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
3	2(11.8)	1(25.0)	0(0.0)	1(25.0)	4(15.4)
4	4(23.5)	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)	5(19.2)
5	2(11.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(7.7)
6以上	1(5.9)	1(25.0)	1(100)	2(50.0)	5(19.2)
記載なし	7(41.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(26.9)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=17)	血管性痴呆 (N=4)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=4)	総計 (N=26)
1	5(29.4)	2(50.0)	0(0.0)	2(50.0)	9(34.6)
2	3(17.6)	1(25.0)	1(100)	2(50.0)	7(26.9)
3	3(17.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(11.5)
記載なし	6(35.3)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(26.9)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=17)	血管性痴呆 (N=4)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=4)	総計 (N=26)
1～	2(11.8)	1(25.0)	0(0.0)	1(25.0)	4(15.4)
06～	2(11.8)	2(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(15.4)
11～	5(29.4)	0(0.0)	1(100)	2(50.0)	8(30.8)
31～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	8(47.1)	1(25.0)	0(0.0)	1(25.0)	10(38.5)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=17)	血管性痴呆 (N=4)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=4)	総計 (N=26)
1	4(23.5)	2(50.0)	0(0.0)	3(75.0)	9(34.6)
2	3(17.6)	1(25.0)	1(100)	0(0.0)	5(19.2)
3	0(0.0)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.8)
4	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
5	1(5.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.8)
6～	1(5.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.8)
11以上	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	8(47.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)	9(34.6)

頻度	アルツハイマー病 (N=17)	血管性痴呆 (N=4)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=4)	総計 (N=26)
年に1度～2 カ月に1度	3(17.6)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(15.4)
月に1度～ 2週間に1度	1(5.9)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(7.7)
週に1度～ 2日に1度	3(17.6)	2(50.0)	0(0.0)	4(100)	9(34.6)
日に1度～ 日に数回	9(52.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	9(34.6)
記載なし	1(5.9)	0(0.0)	1(100)	0(0.0)	2(7.7)

(7) 昼夜逆転、不眠 (表36)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が半数だった。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では、6位以上に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は3位が、血管性痴呆、頭部外傷後遺症とその他の痴呆は6位以上が一番多かった。
- ③対応する介護人数は、全体でも、疾患別でも、1人が一番多かった。
- ④対応時間は、記載なしが多く、正確ではないが、全体でも、疾患別でも、30分以内が多かった。
- ⑤対応回数は、記載なしが多く、正確ではないが、全体でも、疾患別でも、1回が多かった。
- ⑥頻度は、全体では、「週に1度～2日に1度」と「日に1度～日に数回」が同頻度で見られた。疾患別に見ると、アルツハイマー病は、「日に1度～日に数回」が一番多く、血管性痴呆とその他の痴呆は「週に1度～2日に1度」が一番多く、頭部外傷後遺症は「月に1度～2週間に1度」が一番多かった。

<小括>

昼夜逆転・不眠は、問題なしが多かった。対応人数は1人で、回数も1回が多く重労働ではないが、対応時間が長かった。対応の困難さは、疾患により頻度が異なり、特にアルツハイマー病では他の疾患より高度だった。

(8) 徘徊、迷子 (表37)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が半数以上だった。但し、アルツハイマー病は、「問題あり」が半数近かった。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では、1位に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病、頭部外傷後遺症は1位、血管性痴呆は2位が一番多かった。
- ③対応する介護人数は、全体でも、疾患別でも、1人が一番多かった。
- ④対応時間は、記載なしが多く、正確ではないが、全体では、11分～30分が一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病と頭部外傷後遺症は11分～30分が、血管性痴呆は5分以内が、その他の痴呆は6分～10分が一番多かった。
- ⑤対応回数は、記載なしが多く、正確ではないが、全体でも、血管性痴呆を除く疾患別でも、1回が多かった。なお、血管性痴呆は3回が一番多かった。
- ⑥頻度は、全体でも、疾患別でも、「日に1度～日に数回」が一番多かった。

<小括>

徘徊・迷子は問題なしが多かった。しかし、問題がある場合は、人数は一人で、回数は1回と重労働ではないが、対応時間は長く、対応の困難さは高度といえた。

(9) 食事の拒否 (表38)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が半数だった。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では、4位に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病、頭部外傷後遺症とその他の痴呆は4位、血管性痴呆は6位以上が一番多かった。
- ③対応する介護人数は、全体でも、頭部外傷後遺症を除く疾患別でも、1人が一番多かった。なお、頭部外傷後遺症は2人が多かった。
- ④対応時間は、全体では、181分以上が多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は181分以上、血管性痴呆は6分～10分、頭部外傷後遺症は11分～30分が、それぞれ一番多かった。
- ⑤対応回数は、記載なしが多く、正確ではないが、全体でも、頭部外傷後遺症を除く疾患別でも、1回が多かった。
- ⑥頻度は、全体では、「週に1度～2日に1度」が一番多かった。疾患別に見ると、アルツハイマー病は、「日に1度～日に数回」、「週に1度～2日に1度」、「月に1度～2週間に1度」がともに同頻度で見られた。血管性痴呆は「年に1度～2月に1度」、頭部外傷後遺症は「週に1度～2日に1度」、その他の痴呆は「日に1度～日に数回」と「週に1度～2日に1度」がそれぞれ1名ずつ見られた。

<小括>

食事の拒否は、問題なしが多かった。問題がある場合は、対応人数や回数は少なく重労働ではないものの、対応時間が非常に長かった。但し、対応の困難さは、中程度だった。

表36 昼夜逆転、不眠

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	10(21.3)	5(16.7)	2(12.5)	3(15.0)	20(17.7)
問題なし	37(78.7)	25(83.3)	14(87.5)	17(85.0)	93(82.3)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=10)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=2)	その他 (N=3)	総計 (N=20)
1	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
2	1(10.0)	0(0.0)	1(50.0)	1(33.3)	3(15.0)
3	2(20.0)	2(40.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(20.0)
4	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.0)
5	1(10.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.0)
6以上	1(10.0)	2(40.0)	1(50.0)	1(33.3)	5(25.0)
記載なし	5(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)	6(30.0)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=10)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=2)	その他 (N=3)	総計 (N=20)
1	8(80.0)	4(80.0)	2(100)	3(100)	17(85.0)
2	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.0)
3	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	2(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(10.0)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=10)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=2)	その他 (N=3)	総計 (N=20)
1～	2(20.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	3(15.0)
06～	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.0)
11～	1(10.0)	1(20.0)	1(50.0)	0(0.0)	3(15.0)
31～	1(10.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(10.0)
61～	1(10.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.0)
121～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	5(50.0)	2(40.0)	0(0.0)	3(100)	10(50.0)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=10)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=2)	その他 (N=3)	総計 (N=20)
1	2(20.0)	2(40.0)	2(100)	0(0.0)	6(30.0)
2	2(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(10.0)
3	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
4	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
5	1(10.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(10.0)
6～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	5(50.0)	2(40.0)	0(0.0)	3(100)	10(50.0)

頻度	アルツハイマー病 (N=10)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=2)	その他 (N=3)	総計 (N=20)
年に1度～2 カ月に1度	2(20.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(15.0)
月に1度～ 2週間に1度	0(0.0)	0(0.0)	2(100)	0(0.0)	2(10.0)
週に1度～ 2日に1度	1(10.0)	3(60.0)	0(0.0)	2(66.7)	6(30.0)
日に1度～ 日に数回	5(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)	6(30.0)
記載なし	2(20.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(15.0)

表37. 徘徊、迷子

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	22(46.8)	5(16.7)	1(6.3)	3(15.0)	31(27.4)
問題なし	25(53.2)	25(83.3)	15(93.7)	17(85.0)	82(72.6)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=22)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=3)	総計 (N=31)
1	9(40.9)	1(20.0)	1(100)	1(33.3)	12(38.7)
2	4(18.2)	2(40.0)	0(0.0)	1(33.3)	7(22.6)
3	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
4	1(4.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.2)
5	3(13.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(9.7)
6以上	0(0.0)	2(40.0)	0(0.0)	1(33.3)	3(9.7)
記載なし	5(22.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(16.1)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=22)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=3)	総計 (N=31)
1	17(77.3)	4(80.0)	1(100)	1(33.3)	23(74.2)
2	2(9.1)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(9.7)
3	1(4.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.2)
記載なし	2(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	2(66.7)	4(12.9)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=22)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=3)	総計 (N=31)
1～	0(0.0)	3(60.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(9.7)
6～	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	1(33.3)	2(6.5)
11～	5(22.7)	1(20.0)	1(100)	0(0.0)	7(22.6)
31～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
61～	2(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.5)
121～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
181以上	3(13.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(9.7)
記載なし	12(54.5)	0(0.0)	0(0.0)	2(66.7)	14(45.2)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=22)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=3)	総計 (N=31)
1	3(13.6)	1(20.0)	1(100)	1(33.3)	6(19.4)
2	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.2)
3	1(4.5)	2(40.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(9.7)
4	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
5	2(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.5)
6～	1(4.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.2)
11以上	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	15(68.2)	1(20.0)	0(0.0)	2(66.7)	18(58.1)

頻度	アルツハイマー病 (N=22)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=3)	総計 (N=31)
年に1度～2 カ月に1度	4(18.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(12.9)
月に1度～2 週間に1度	3(13.6)	2(40.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(16.1)
週に1度～2 日に1度	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.2)
日に1度～日 に数回	12(54.5)	2(40.0)	1(100)	3(100)	18(58.1)
記載なし	3(13.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(9.7)

表38. 食事の拒否

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	7(14.9)	1(3.3)	1(6.3)	2(10.0)	11(9.7)
問題なし	40(85.1)	29(96.7)	15(93.7)	18(90.0)	102(90.3)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=1)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=2)	総計 (N=11)
1	1(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)
2	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
3	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
4	2(28.6)	0(0.0)	1(100)	1(50.0)	4(36.4)
5	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
6以上	1(14.3)	1(100)	0(0.0)	1(50.0)	3(27.3)
記載なし	3(42.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(27.3)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=1)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=2)	総計 (N=11)
1	6(85.7)	1(100)	0(0.0)	1(50.0)	8(72.7)
2	1(14.3)	0(0.0)	1(100)	1(50.0)	3(27.3)
3	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=1)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=2)	総計 (N=11)
1～	2(28.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(18.2)
6～	1(14.3)	1(100)	0(0.0)	1(50.0)	3(27.3)
11～	0(0.0)	0(0.0)	1(100)	1(50.0)	2(18.2)
31～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
61～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
121～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
181以上	4(57.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(36.4)
記載なし	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=1)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=2)	総計 (N=11)
1	2(28.6)	1(100)	0(0.0)	1(50.0)	4(36.4)
2	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	1(9.1)
3	1(14.3)	0(0.0)	1(100)	0(0.0)	2(18.2)
4～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	4(57.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(36.4)

頻度	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=1)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=2)	総計 (N=11)
年に1度～2 カ月に1度	0(0.0)	1(100)	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)
月に1度～ 2週間に1度	2(28.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(18.2)
週に1度～ 2日に1度	2(28.6)	0(0.0)	1(100)	1(50.0)	4(36.4)
日に1度～ 日に数回	2(28.6)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	3(27.3)
記載なし	1(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)

(10) 火の不始末・弄火 (表39)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が多かった。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では、1位、5位、6位以上に分かれた。疾患別にみると、アルツハイマー病は、1位と6位以上に分かれた。頭部外傷後遺症は5位だった。
- ③対応する介護人数は、全体でも、疾患別でも、1人だった。
- ④対応時間は、記載なしが半分を占めるため、正確ではないが、全体では、10分以内だった。疾患別にみると、アルツハイマー病は6分～10分、頭部外傷後遺症は5分以内だった。
- ⑤対応回数は、記載なしが半数を占めるため、正確ではないが、全体でも、疾患別でも、1回だった。
- ⑥頻度は、全体では、「日に1度～日に数回」、「月に1度～2週間に1度」、「年に1度～2か月に1度」にそれぞれ分かれた。疾患別に見ると、アルツハイマー病は、「日に1度～日に数回」と「年に1度～2か月に1度」に、頭部外傷後遺症は「月に1度～2週間に1度」に、それぞれ1名ずつ見られた。

<小括>

火の不始末は、問題なしが多かった。問題がある場合も、対応人数、時間、回数は少なく、また処遇困難の程度は比較的軽度だった。しかし、この問題は、家屋損傷や生命に危険を及ぼす可能性が大きいため、別の観点から考える必要がある。

(11) 物取られ妄想 (表40)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が多かった。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では6位以上に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は、6位以上が一番多かった。その他の痴呆は、1位と6位以上に分かれた。
- ③対応する介護人数は、全体でも、疾患別でも、1人が一番多かった。
- ④対応時間は、記載なしが多いため、正確ではないが、全体では、6分～10分が一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は、5分以内、6分～10分、11分～30分にそれぞれ分かれたが、その他の痴呆は、6～10分だった。
- ⑤対応回数は、記載なしが多いため、正確ではないが、全体では、3回が一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は3回が一番多く、その他の痴呆は1回だった。
- ⑥頻度は、全体では、「月に1度～2週間に1度」が一番多かった。疾患別に見ると、アルツハイマー病は、「日に1度～日に数回」、「週に1度～2日に1度」、「月に1度～2週間に1度」が同頻度で見られた。その他の痴呆は、「月に1度～2週間に1度」と「年に1度～2か月に1度」がそれぞれ1名ずつ見られた。

<小括>

物取られ妄想は、問題なしが多かった。問題がある場合も、対応人数と回数は少なく重労働ではないが、対応時間は比較的長かった。なお、対応の困難な程度は比較的軽度だった。

(12) 被害妄想 (表41)

被害妄想は、アルツハイマー病にのみ認められた。

- ①「問題なし」が多かった。
- ②対応困難な問題としての順位は、6位以上に挙げられることが一番多かった。
- ③対応する介護人数は、1人が一番多かった。
- ④対応時間は、記載なしが多いため、正確ではないが、6分～30分が多かった。
- ⑤対応回数は、記載なしが多いため、正確ではないが、2～3回が多かった。
- ⑥頻度は、「週に1度～2日に1度」が一番多く見られた。

<小括>

被害妄想は、今回の調査では、アルツハイマー病にのみ認められた。対応人数と回数は少なく重労働ではないが、対応時間は比較的長かった。なお、対応の困難さは比較的軽度だった。

表39. 火の不始末・弄火

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	3(6.4)	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	4(3.5)
問題なし	44(93.6)	30(100)	15(93.7)	20(100)	109(96.5)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=3)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=0)	総計 (N=4)
1	1(33.3)	0	0(0.0)	0	1(25.0)
2	0(0.0)	0	0(0.0)	0	0(0.0)
3	0(0.0)	0	0(0.0)	0	0(0.0)
4	0(0.0)	0	0(0.0)	0	0(0.0)
5	0(0.0)	0	1(100)	0	1(25.0)
6以上	1(33.3)	0	0(0.0)	0	1(25.0)
記載なし	1(33.3)	0	0(0.0)	0	1(25.0)

介護人数(人)	アルツハイマー病 (N=3)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=0)	総計 (N=4)
1	3(100)	0	1(100)	0	4(100)
2	0(0.0)	0	0(0.0)	0	0(0.0)
記載なし	0(0.0)	0	0(0.0)	0	0(0.0)

対応時間(分)	アルツハイマー病 (N=3)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=0)	総計 (N=4)
1～	0(0.0)	0	1(100)	0	1(25.0)
6～	1(33.3)	0	0(0.0)	0	1(25.0)
11～	0(0.0)	0	0(0.0)	0	0(0.0)
記載なし	2(66.7)	0	0(0.0)	0	2(50.0)

対応回数(回)	アルツハイマー病 (N=3)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=0)	総計 (N=4)
1	1(33.3)	0	1(100)	0	2(50.0)
2～	0(0.0)	0	0(0.0)	0	0(0.0)
記載なし	2(66.7)	0	0(0.0)	0	2(50.0)

頻度	アルツハイマー病 (N=3)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=0)	総計 (N=4)
年に1度～2 カ月に1度	1(33.3)	0	0(0.0)	0	1(25.0)
月に1度～ 2週間に1度	0(0.0)	0	1(100)	0	1(25.0)
週に1度～ 2日に1度	0(0.0)	0	0(0.0)	0	0(0.0)
日に1度～ 日に数回	1(33.3)	0	0(0.0)	0	1(25.0)
記載なし	1(33.3)	0	0(0.0)	0	1(25.0)

表40. 物取られ妄想

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	7(14.9)	0(0.0)	0(0.0)	2(10.0)	9(8.0)
問題なし	40(85.1)	30(100)	16(100)	18(90.0)	104(92.0)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=0)	その他 (N=2)	総計 (N=9)
1	1(14.3)	0	0	1(50.0)	2(22.2)
2	0(0.0)	0	0	0(0.0)	0(0.0)
3	0(0.0)	0	0	0(0.0)	0(0.0)
4	1(14.3)	0	0	0(0.0)	1(11.1)
5	0(0.0)	0	0	0(0.0)	0(0.0)
6以上	2(28.6)	0	0	1(50.0)	3(33.3)
記載なし	3(42.9)	0	0	0(0.0)	3(33.3)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=0)	その他 (N=2)	総計 (N=9)
1	5(71.4)	0	0	1(50.0)	6(66.7)
2	1(14.3)	0	0	0(0.0)	1(11.1)
3	0(0.0)	0	0	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	1(14.3)	0	0	1(50.0)	2(22.2)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=0)	その他 (N=2)	総計 (N=9)
1～	1(14.3)	0	0	0(0.0)	1(11.1)
6～	1(14.3)	0	0	1(50.0)	2(22.2)
11～	1(14.3)	0	0	0(0.0)	1(11.1)
31～	0(0.0)	0	0	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	4(57.1)	0	0	1(50.0)	5(55.6)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=0)	その他 (N=2)	総計 (N=9)
1	0(0.0)	0	0	1(50.0)	1(11.1)
2	1(14.3)	0	0	0(0.0)	1(11.1)
3	2(28.6)	0	0	0(0.0)	2(22.2)
4	0(0.0)	0	0	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	4(57.1)	0	0	1(50.0)	5(55.6)

頻度	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=0)	その他 (N=2)	総計 (N=9)
年に1度～2 カ月に1度	1(14.3)	0	0	1(50.0)	2(22.2)
月に1度～ 2週間に1度	2(28.6)	0	0	1(50.0)	3(33.3)
週に1度～ 2日に1度	2(28.6)	0	0	0(0.0)	2(22.2)
日に1度～ 日に数回	2(28.6)	0	0	0(0.0)	2(22.2)
記載なし	0(0.0)	0	0	0(0.0)	0(0.0)

表41. 被害妄想

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	7(14.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(6.2)
問題なし	40(85.1)	30(100)	16(100)	20(100)	106(93.8)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=0)	その他 (N=0)	総計 (N=7)
1	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
2	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
3	1(14.3)	0	0	0	1(14.3)
4	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
5	1(14.3)	0	0	0	1(14.3)
6以上	3(42.9)	0	0	0	3(42.9)
記載なし	2(28.6)	0	0	0	2(28.6)

介護人数(人)	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=0)	その他 (N=0)	総計 (N=7)
1	5(71.4)	0	0	0	5(71.4)
2	1(14.3)	0	0	0	1(14.3)
3	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
記載なし	1(14.3)	0	0	0	1(14.3)

対応時間(分)	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=0)	その他 (N=0)	総計 (N=7)
1～	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
6～	1(14.3)	0	0	0	1(14.3)
11～	1(14.3)	0	0	0	1(14.3)
31～	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
記載なし	5(71.4)	0	0	0	5(71.4)

対応回数(回)	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=0)	その他 (N=0)	総計 (N=7)
1	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
2	1(14.3)	0	0	0	1(14.3)
3	1(14.3)	0	0	0	1(14.3)
4～	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
記載なし	5(71.4)	0	0	0	5(71.4)

頻度	アルツハイマー病 (N=7)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=0)	その他 (N=0)	総計 (N=7)
年に1度～2 カ月に1度	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
月に1度～ 2週間に1度	3(42.9)	0	0	0	3(42.9)
週に1度～ 2日に1度	4(57.1)	0	0	0	4(57.1)
日に1度～ 日に数回	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
記載なし	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)

(13) 夜間せん妄 (表4 2)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が多かった。
- ②対応困難な問題としての順位は、記載なしが多いため正確でないが、全体では5位に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は、2位～5位がそれぞれ1名ずつ認められた。頭部外傷後遺症では6位以上、その他の痴呆では5位がそれぞれ1名ずつ見られた。
- ③対応する介護人数は、全体でも、疾患別でも、1人が一番多かった。
- ④対応時間は、記載なしが多いため、正確ではないが、全体では、31分～60分が一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は、31分～60分が一番多かったが、頭部外傷後遺症では、11～30分だった。
- ⑤対応回数は、記載なしが多いため、正確ではないが、全体でも、疾患別でも、1回が一番多かった。
- ⑥頻度は、全体では、「日に1度～日に数回」が一番多かった。疾患別に見ると、アルツハイマー病は、「日に1度～日に数回」が一番多かった。頭部外傷後遺症は、「年に1度～2か月に1度」が、その他の痴呆は、「週に1度～2日に1度」と「月に1度～2週間に1度」がそれぞれ1名ずつ見られた。

<小括>

夜間せん妄は、問題なしが多かった。問題がある場合は、対応人数は1人で、回数も1回が多かったが、対応時間が長かった。疾患により頻度が異なるが、全体として、対応の困難さは軽度だった。

(14) 自傷行為 (表4 3)

自傷行為は、頭部外傷後遺症とその他の痴呆にそれぞれ1名ずつ見られた。

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が多かった。
- ②対応困難な問題としての順位は、頭部外傷後遺症では6位以上、その他の痴呆では1位だった。
- ③対応する介護人数は、頭部外傷後遺症で3名、その他の痴呆で2人だった。
- ④対応時間は、頭部外傷後遺症、その他の痴呆ともに、11～30分だった。
- ⑤対応回数は、頭部外傷後遺症、その他の痴呆ともに、1回だった。
- ⑥頻度は、頭部外傷後遺症が、「月に1度～2週に1度」、その他の痴呆が、「年に1度～2月に1度」だった。

<小括>

自傷行為は問題なしが大部分だった。問題がある場合は、対応の人数と回数は少なく重労働ではないが、対応時間は比較的長かった。なお、対応の困難さは疾患により異なっていた。

(15) 暴力・暴言 (表4 4)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が多かった。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では1位に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病では1位が、血管性痴呆では1位ないし2位が一番多かった。頭部外傷後遺症では1位、3位、4位がそれぞれ1名ずつ見られた。その他の痴呆では、1位ないし2位が一番多かった。
- ③対応する介護人数は、全体では1人が一番多かった。疾患別に見ると、アルツハイマー病と血管性痴呆は1人が一番多いが、頭部外傷後遺症とその他の痴呆は2人が一番多く、違いが見られた。
- ④対応時間は、記載なしが多いため、正確ではないが、全体では、5分以内と11分～30分が同頻度で一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は5分以内、血管性痴呆は6分～10分、頭部外傷後遺症は11～30分、その他の痴呆は5分以内が一番多かった。
- ⑤対応回数は、記載なしが多いため、正確ではないが、全体でも、疾患別でも、1回が一番多かった。
- ⑥頻度は、全体では、「日に1度～日に数回」が一番多かった。疾患別に見ると、アルツハイマー病は「日に1度～日に数回」、血管性痴呆は「年に1度～2か月に1度」、その他の痴呆は、「月に1度～2週間に1度」が、それぞれ一番多かった。頭部外傷後遺症は、「週に1度～2日に1度」、「月に1度～2週間に1度」と「年に1度～2か月に1度」が、それぞれ1名ずつ見られた。

<小括>

暴力・暴言は問題なしが多かった。問題がある場合は、対応の人数と回数は少なく重労働ではないが、対応時間は比較的長かった。なお、対応の頻度も多く、対応の困難さも高度だった。

表42. 夜間せん妄

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	8(17.0)	0(0.0)	1(6.3)	2(10.0)	11(9.7)
問題なし	39(83.0)	30(100)	15(93.7)	18(90.0)	102(90.3)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=8)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=2)	総計 (N=11)
1	0(0.0)	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
2	1(12.5)	0	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)
3	1(12.5)	0	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)
4	1(12.5)	0	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)
5	1(12.5)	0	0(0.0)	1(50.0)	2(18.2)
6以上	0(0.0)	0	1(100)	0(0.0)	1(9.1)
記載なし	4(50.0)	0	0(0.0)	1(50.0)	5(45.5)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=8)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=2)	総計 (N=11)
1	6(75.0)	0	1(100)	1(50.0)	8(72.7)
2	1(12.5)	0	0(0.0)	1(50.0)	2(18.2)
3	0(0.0)	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	1(12.5)	0	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=8)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=2)	総計 (N=11)
1～	0(0.0)	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
6～	1(12.5)	0	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)
11～	1(12.5)	0	1(100)	0(0.0)	2(18.2)
31～	2(25.0)	0	0(0.0)	0(0.0)	2(18.2)
61～	0(0.0)	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
121～	1(12.5)	0	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)
181以上	0(0.0)	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	3(37.5)	0	0(0.0)	2(100)	5(45.5)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=8)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=2)	総計 (N=11)
1	4(50.0)	0	1(100)	0(0.0)	5(45.5)
2	1(12.5)	0	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)
3	0(0.0)	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	3(37.5)	0	0(0.0)	2(100)	5(45.5)

頻度	アルツハイマー病 (N=8)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=2)	総計 (N=11)
年に1度～2 カ月に1度	0(0.0)	0	1(100)	0(0.0)	1(9.1)
月に1度～ 2週間に1度	2(25.0)	0	0(0.0)	1(50.0)	3(27.3)
週に1度～ 2日に1度	1(12.5)	0	0(0.0)	1(50.0)	2(18.2)
日に1度～ 日に数回	4(50.0)	0	0(0.0)	0(0.0)	4(36.4)
記載なし	1(12.5)	0	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)

表43. 自傷行為

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	0(0.0)	0(0.0)	1(6.2)	1(5.0)	2(1.8)
問題なし	47(100)	30(100)	15(93.8)	19(95.0)	111(98.2)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=0)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=1)	総計 (N=2)
1	0	0	0(0.0)	1(100)	1(50.0)
2	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
3	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
4	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
5	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
6以上	0	0	1(100)	0(0.0)	1(50.0)
記載なし	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=0)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=1)	総計 (N=2)
1	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
2	0	0	0(0.0)	1(100)	1(50.0)
3	0	0	1(100)	0(0.0)	1(50.0)
記載なし	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=0)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=1)	総計 (N=2)
1～	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
6～	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
11～	0	0	1(100)	1(100)	2(100)
31～	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=0)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=1)	総計 (N=2)
1	0	0	1(100)	1(100)	2(100)
2	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

頻度	アルツハイマー病 (N=0)	血管性痴呆 (N=0)	頭部外傷後遺症 (N=1)	その他 (N=1)	総計 (N=2)
年に1度～2 カ月に1度	0	0	0(0.0)	1(100)	1(50.0)
月に1度～ 2週間に1度	0	0	1(100)	0(0.0)	1(50.0)
週に1度～ 2日に1度	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
日に1度～ 日に数回	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	0	0	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

表44. 暴力・暴言

	アルツハイマー病 (N=47)	血管性痴呆 (N=30)	頭部外傷後遺症 (N=16)	その他 (N=20)	総計 (N=113)
問題あり	14(29.8)	5(16.7)	3(18.8)	7(35.0)	29(25.7)
問題なし	33(70.2)	25(83.3)	13(81.2)	13(65.0)	84(74.3)

対応困難な問題行動としての順位	アルツハイマー病 (N=14)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=3)	その他 (N=7)	総計 (N=29)
1	3(21.4)	2(40.0)	1(33.3)	3(42.9)	9(31.0)
2	2(14.3)	2(40.0)	0(0.0)	3(42.9)	7(24.1)
3	2(14.3)	1(20.0)	1(33.3)	0(0.0)	4(13.8)
4	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)	1(3.4)
5	1(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.4)
6以上	3(21.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(10.3)
記載なし	3(21.4)	0(0.0)	0(0.0)	1(14.2)	4(13.8)

介護人数 (人)	アルツハイマー病 (N=14)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=3)	その他 (N=7)	総計 (N=29)
1	13(92.9)	4(80.0)	1(33.3)	1(14.3)	19(65.5)
2	1(7.1)	1(20.0)	2(66.7)	6(85.7)	10(34.5)
3	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

対応時間 (分)	アルツハイマー病 (N=14)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=3)	その他 (N=7)	総計 (N=29)
1～	3(21.4)	1(20.0)	0(0.0)	2(28.6)	6(20.7)
6～	1(7.1)	3(60.0)	0(0.0)	1(14.3)	5(17.2)
11～	2(4.3)	1(20.0)	2(66.7)	1(14.3)	6(20.7)
31～	1(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.4)
61～	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	7(50.0)	0(0.0)	1(33.3)	3(42.9)	11(37.9)

対応回数 (回)	アルツハイマー病 (N=14)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=3)	その他 (N=7)	総計 (N=29)
1	3(21.4)	4(80.0)	2(66.7)	4(57.1)	13(44.8)
2	1(7.1)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.9)
3	1(7.1)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)	2(6.9)
4	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
5	1(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.4)
6～	1(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(14.3)	2(6.9)
11以上	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
記載なし	7(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(28.6)	9(31.0)

頻度	アルツハイマー病 (N=14)	血管性痴呆 (N=5)	頭部外傷後遺症 (N=3)	その他 (N=7)	総計 (N=29)
年に1度～2 カ月に1度	1(7.1)	2(40.0)	1(33.3)	2(28.6)	6(20.7)
月に1度～ 2週間に1度	2(14.3)	1(20.0)	1(33.3)	4(57.1)	8(27.6)
週に1度～ 2日に1度	1(7.1)	1(20.0)	1(33.3)	0(0.0)	3(10.3)
日に1度～ 日に数回	8(57.1)	1(20.0)	0(0.0)	1(14.3)	10(34.5)
記載なし	2(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.9)

(16) 大声・奇声・叫声 (表45)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が多かった。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では2位に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病では6位以上が、血管性痴呆では2位が一番多かった。頭部外傷後遺症では1位と2位がそれぞれ2名ずつ見られた。その他の痴呆では、1位、3位、6位以上がそれぞれ1名ずつ見られた。
- ③対応する介護人数は、全体でも、疾患別でも、1人が一番多かった。
- ④対応時間は、記載なしが多いため、正確ではないが、全体では、5分以内と11分～30分が同頻度で一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病は5分以内、血管性痴呆は6分～10分、頭部外傷後遺症は11～30分、その他の痴呆は5分以内が一番多かった。
- ⑤対応回数は、記載なしが多いため、正確ではないが、全体でも、疾患別でも、1回が一番多かった。
- ⑥頻度は、全体では、「日に1度～日に数回」が一番多かった。疾患別に見ると、アルツハイマー病と血管性痴呆は「日に1度～日に数回」、頭部外傷後遺症は「月に1度～2週間に1度」が一番多かった。その他の痴呆は、「日に1度～日に数回」、「週に1度～2日に1回」、「月に1度～2週間に1度」が、それぞれ1名ずつ見られた。

<小括>

大声・奇声・叫声は、問題なしが多かった。対応人数と回数は少なく、重労働と言えないが、対応時間は比較的長かった。なお、対応の頻度は日に数回と多く、対応の困難度は、高度だった。

(17) 興奮 (表46)

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が多かった。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では6位以上に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病では6位以上が、血管性痴呆では1位と6位以上が同頻度で一番多かった。頭部外傷後遺症では2位が一番多かった。その他の痴呆では、1位、2位、3位と6位以上がそれぞれ1名ずつ見られた。
- ③対応する介護人数は、全体でも、その他の痴呆を除いて疾患別でも、1人が一番多かった。なお、その他の痴呆は、2人が一番多かった。
- ④対応時間は、記載なしが多いため、正確ではないが、全体では、6分～10分が一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病と頭部外傷後遺症は11分～30分、血管性痴呆は6分～10分が一番多かった。その他の痴呆は5分以内、6分～10分、181分以上がそれぞれ1名ずつ見られた。
- ⑤対応回数は、記載なしが多いため、正確ではないが、全体でも、疾患別でも、1回が一番多かった。
- ⑥頻度は、全体では、「日に1度～日に数回」が一番多かった。疾患別に見ると、アルツハイマー病は「日に1度～日に数回」が一番多かった。血管性痴呆は「週に1度～2日に1回」と「年に1度～2カ月に1回」が同頻度で一番多かった。頭部外傷後遺症は「日に1度～日に数回」、「週に1度～2日に1回」、「月に1度～2週間に1度」、「年に1度～2カ月に1回」がそれぞれ1名ずつ見られた。その他の痴呆は、「月に1度～2週間に1度」が一番多かった。

<小括>

全体として、30%前後認められた。疾患別にはアルツハイマー病に多く見られた。対応する介護者の人数は、1人であつ対応回数も多くないため、重労働ではないが、対応時間が比較的長かった。また、対応の困難さは疾患により違っていた。

(18) 異食 (表47)

異食はアルツハイマー病とその他の計4例に認められた。

- ①全体でも、疾患別でも、「問題なし」が多かった。
- ②対応困難な問題としての順位は、全体では6位以上に挙げられることが一番多かった。疾患別にみると、アルツハイマー病では2位、4位、6位以上が、それぞれ1名ずつ見られた。その他の痴呆では、6位以上が1名見られた。
- ③対応する介護人数は、全体でも、疾患別でも、1人が一番多かった。
- ④対応時間は、全体でも、疾患別でも、5分以内、6分～10分、11分～30分にそれぞれ1名ずつ見られた。
- ⑤対応回数は、全体でも、疾患別でも、1回が一番多かった。
- ⑥頻度は、アルツハイマー病は「月に1度～2週間に1度」、その他の痴呆は、「年に1度～2か月に1度」が一番多かった。

<小括>

対応困難な問題としては、順位が低く、かつ介護に要する人数や、問題行動への対応時間・回数ともに多くないことにより、異食は大きな問題行動に含まれないといえた。